ふれあい天文学 ―あなたの教室に天文学者を届けます！―

あなたの教室に天文学者を届けます！

国立天文台は、国内外の小中学校で天文学や宇宙の授業を行う「ふれあい天文学」を 2023 年度も行います。講師は国立天文台の天文学者(※)で、従来の訪問授業だけではなく、オンライン授業も継続して行います。

2010 年度にスタートしたふれあい天文学では、例年 40 名を超える職員が講師となって、星や宇宙の話題を、国内外の小中学校に届けています。今度はみなさんの学校で天文学者の授業を行ってみませんか。詳しくはこちらをご覧ください。ふれあい天文学：https://prc.nao.ac.jp/delivery/

(※)天文学あるいは関連する分野の研究・開発をしている国立天文台職員および元職員

「ふれあい天文学」ってどんな授業なの？

提供：創価中学校

全国の小中学校のほか、近年は、聾（ろう）学校、特別支援学校、夜間中学でも授業を行ったほか、世界各地の日本人学校や補習授業校でもオンラインでの授業を実施しています。

授業のタイトルは

●どこまでわかったの？ 宇宙と生命の起源
●宇宙の不思議
●宇宙の中のブラックホール
●日本とアジアで協力する宇宙の研究

などいろいろ。

若手の研究者から国立天文台の重鎮、そしてテレビで見かける天文学者まで参加しています。

子どもたち・先生・天文学者の感想

子どもたち、学校の先生、天文学者から寄せられた感想をご紹介します。

●ひとつの銀河が大きいなぁと思っていたら、同じようなものが数えきれないほど多くでてきてびっくりしました。（小学生）
●土星や木星には地面がないんだと知りました。（小学生）
●望遠鏡を作るのに 10 年以上かかることがびっくりしました。完成したら、綺麗な星をたくさん見てみたいです。（小学生）
●銀河とブラックホールの重さが比例するなんて驚きました。（中学生）
●今回のお話を伺って、私も将来宇宙関係の仕事につきたいなと思いました。（中学生）
●お話をする先生の表情・声色から天文学への愛が伝わってきて、私も好きな事を仕事に活かせたらいいなと思いました。（中学生）
●授業途中にもばんばん質問がきた。それもストレート。核心に迫る質問だった。感心した。（天文学者）

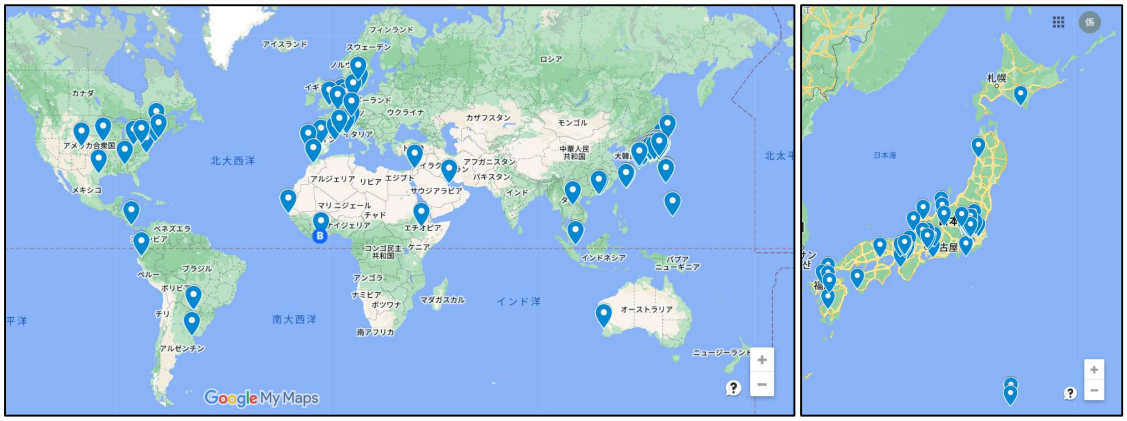
授業風景

提供：浦河町立浦河東部小学校

提供：リッチモンド日本語補習校（バージニア州）

提供：岡山大学教育学部附属中学校

実施先（2022 年度）



実施概要　締切：2023 年 5 月 31 日（水曜日）

◆対　　象：国内外の小学校（4 年生以上）、中学校
◆授業時間：45～100 分（1～2 コマ）程度
◆内　　容：天文学に関わる授業と質疑
◆実施期間：2023 年 10 月から 2024 年 2 月の間
◆実施方法：講師を派遣する訪問授業、オンライン授業（Zoom を推奨）
◆その他　：授業内容、実施時期、実施方法などは、学校と講師と相談の上で決定します。
　　要望に応じてキャリアパス（天文学の仕事）の話もします。
　　この事業は「天文学振興募金」の支援を受けており、実施校の負担はありません。
◆お申込、お問い合わせ先： fureai@ml.nao.ac.jp